

○令和6年度目標達成状況

資料1

No.	項目	令和5年度		令和6年度		検証および今後について
		目標値	実績	目標値	実績	
1	福祉コミュニティエリアにおける居住者数（累計）	500人	519人	500人	526人	令和6年度の実績は目標値を上回っているが、大きな伸びは見られない。宅地は令和3年度末で全101区画が売却済みであり、住宅も概ね建設済みであることや、エリア内の介護施設が令和5年6月以降常にほぼ満床であることなどから、今後も居住者数が大きく増えることはなく、横ばいで推移するものと予測される。
2	市外からの移住者数（累計）	50人	42人	50人	42人	実績値は前年度と変わらず42人であり、令和6年度内の市外からの移住者はゼロであった。居住者数と同様、今後大きく増えることはないものと予測される。
3	施設運営に係る雇用人数（累計）	360人	350人	360人	331人	令和6年度の実績は前年度実績を下回っており、目標値には達していない。前年度の雇用者数と比較すると、介護施設のほかクリニックや商業施設など、業種を問わず減少しており、景気や社会情勢の変化等が影響している可能性がある。今後、雇用者数の大幅な増加は見込まれないが、今年度実績程度の、概ね目標値に近い水準を維持するものと予測される。
4	生涯活躍のまち形成による経済効果	7.64億円	17.68億円	7.64億円	17.66億円	前年度と比べて、経済効果を計る要素に大きな変化はなく、ほぼ前年度並みの実績となっている。引き続き目標値を上回ることが予測される。
5	地域福祉の相談件数	72件	21件	72件	0件	福祉相談の実績はゼロであったが、これは、エリア内で休止していた介護施設が再開し、介護や福祉に関する相談の受け皿が増えたことや、多世代交流センターが「福祉に関する相談窓口」よりも「地域住民の交流の場」として認知・活用されていることなどが要因であると考えられる。今後も必要に応じて地域の関係機関との連携に努めていく。
6	ボランティア人数	250人	45人	250人	31人	令和6年度の実績は31人で、前年度を下回っている。多世代交流センターの現在の職員体制では、地域で継続的かつ発展的なボランティア活動を行うことには限界があり、目標値を下回っている状況である。今後、第1層生活支援コーディネーターが多世代交流センターとの連携を検討していることから、相互の連携によりボランティア活動の活性化を図ることが期待される。